平成25年7月11日

各 位

上場会社名　リーバイ・ストラウス　ジャパン株式会社
代表者　代表取締役社長 齋藤　貴
（コード番号　9836）
問合せ先責任者　取締役　経理財務統括部長 角井　満信
（TEL　03-5785-5600）

業績予想の修正並びに営業外収益計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年４月11日に公表した業績予想を下記の通り修正し、並びに受取保険金に伴う営業外収益を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年11月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成24年12月1日～平成25年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,600	△190	△170	△210	△7.26
今回修正予想(B)	4,966	18	84	50	1.75
増減額(B-A)	366	208	254	260	
増減率(%)	8.0	―	―	―	
（ご参考）前期第2四半期実績（平成24年11月期第2四半期）	4,884	82	105	77	2.69

平成25年11月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年12月1日～平成25年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,800	△410	△380	△440	△15.21
今回修正予想(B)	10,100	△120	△40	△140	△4.84
増減額(B-A)	300	290	340	300	
増減率(%)	3.1	―	―	―	
（ご参考）前期実績（平成24年11月期）	9,613	294	344	△1,280	△44.25

修正の理由

平成25年4月11日の「平成25年11月期 第1四半期決算短信」にて公表しました業績予測と比較しまして、第2四半期累計期間の業績が黒字化しましたので業績修正を行います。

主な改善の理由は、コア商品に注力した結果売上が好調に推移したためで、この結果、営業利益が予測より伸長しました。また、在庫損害を補てんする受取保険金65百万円を計上したため営業外収益が予測より増加し、経常利益及び四半期純利益が改善しました。

この上期の業績の改善を受けて、通年でも営業損益、経常損益及び当期純損益は改善する見込みです。なお、現時点では下期の業績につきましては、売上については、前回発表の予測並みを見込んでいますが、グローバルの商品調達によるコスト削減を引き続き見込んでおり、営業損益、経常損益及び四半期純損益は改善する見込みです。

以 上